

れあい拠点施設への大きな予算の充当については大きく評価をしたい。

しかしながら、歳入予算に市税が占める割合は53・3%、と、大幅な増は期待できず、市債については92億5千万強を計上し、財政調整基金から9億円を計上している。

また、地方交付税は前年度比マイナス14・6%の24億5千万を見込み、国庫支出金は、昨年当初予算比で9・8%の143億7千万強を計上したが、一般会計の構成割合を見ると、扶助費23・7%人件費21・1%交際費10・2%と、義務的経費がその割合を大きく占めている。

そのほかにも市民生活に直結した経費や特別会計への繰り出し金、公共施設の管理や維持に必要な経費等々、財政は危機的状況にあるといわざるを得ない。



プロジェクト川越21

小林 薫
石川 智 明

私達は川合市長の市政方針を評価し今後を期待します。市長の任期は残すところ1年弱となり、この間都市計画税の値上げなど、市民にとって厳しい施策を打ち出して来ましたが、一方で自らの給料を削減し、更に市職員の特種勤務手当の見直しを行うなど、全市民が一体となって行財政改革に取り組みもうとする姿勢を明確にしてくれました。

平成24年度当初予算では、前倒しで取り組んできた小中学校の耐震化が今年度完了します。引き続き保育園など全公共施設の早期の耐震化が必要です。子育て支援策では、子ども医療通院助成が6年生まで拡大されますが、早期に中学校3年生までの拡大が望まれています。川越らしさを存続させるために、重要伝統的建造

物群保存地区の整備や、旧鶴川座については、観光資源としてまた、市民に喜ばれる施設として再生して行くことが必要だと考えます。

市民フォーラム

高橋 剛
牛 窪 多喜男

東日本大震災から1年が経過し、厳しい社会経済情勢と財政状況が続く中、本市は市制施行90周年という大きな節目を迎えました。平成24年度から本格化する新河岸駅周辺駅整備、西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）整備、川越駅西口駅前広場改修、さらに新斎場の整備は、今後の市民生活と街づくりにとって重要な課題であり、都市基盤整備の推進を評価するものであります。一方、各事業推進は、その多くを市債に頼り、市債残高を押し上げることから、市政への影響は、注視していかねばならないと

考えます。子ども医療費の拡大、保育所建設費補助等の事業は子育て中の家庭の就労や医療費軽減につながる重要な施策と評価します。

みんなの党

吉田 光 雄
明ヶ戸 亮 太

24年度当初予算については日本経済デフレ傾向の中1千億円を超える積極予算を組んだ市の姿勢は大いに評価できる。

川合市長の「コンクリートも人も」の施策が十分反映された予算となっている。支出については川越駅西口地区の周辺整備やふれあい拠点施設費新河岸駅周辺地区整備費など盛り込まれている。

無所属

川口 啓 介

平成24年度の当初予算も近年同様、市税などの自主財源が伸び悩み、市債などの依存財源比率が高くなっています。

しかし、以前と異なり厳しい財政状況下でも少しずつでも貯金しようと

川越市議会委員会条例の改正

市民部は総務財政常任委員会の所管になりました。

文化教育
市民部
教育委員会
文化スポーツ部

総務財政
政策財政部 総務部 市民部 秘書室
広報室 会計室 選挙管理委員会
監査委員 公平委員会
固定資産評価審査委員会

議会情報

する姿勢には共感しています。そんな中、予算規模こそ大きくないものの、コミュニティサイクル社会実験や小型家電の拠点回収事業など注目したい取組みもあります。さらに、新たな行政評価の導入や外郭団体の見直しに取り組み、という市長見解は特に注視し、私が川越市の最重要課題と考える社会資本マネジメントに関しては、さらなる取組みと体制強化が必要と考えています。

